

第4学年 国語科学習指導案

日時 平成18年11月21日(火)5校時
児童 4年2組 男9名 女12名 計21名
指導者 菊池 香ゆり

育てたい主となる能力(基礎・基本)

- ・目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと。(読イ)
- ・書く必要のある事柄を収集したり選択したりすること。(書イ)

1 単元名 材料の選び方を考えよう

教材名 「アップとルーズで伝える」中谷 日出「四年三組から発信します」(光村図書 4年下)

2 単元について

(1) 児童の実態について

児童はこれまでの説明文の学習において、3年上「ありの行列」で形式段落の要点把握を学び、4年上『「かむ」ことの力』で、段落相互の関係を学習してきている。これらの学習を通して、児童は文章の「初め」に問題提起等、「中」に詳しい説明等、「終わり」にはまとめ等が書かれているという説明的文章の構成を概ね理解している。しかし、中心となる語や文を的確にとらえて読める児童は少なく、段落の要点を自力でまとめることも難しい。段落相互の関係についても、接続語や指示語を手がかりにしようとしているが、使われ方が理解できなかったり、指し示す内容が読み取れなかったりして、段落のつながりを理解することができていない状況である。

レディネステストの結果は、問題提起やまとめの段落を指摘し、段落相互の関係を考えることができた児童は61%であった。また、段落の中の中心文を指摘できた児童は52%であった。

また、4年上「新聞記者になろう」では、書くことの学習として、取材したことを割り付けを考えてまとめることを学んだ。児童は、伝えたいことを選び、新聞に載せる内容を決められるようになってきているが、話し始めと文章の内容がかみ合っていないことがあり、伝えたいことの中心を押さえながら書く力は十分とは言えない。またその文章のずれを自分で気づき直すことはまだ難しい状態である。

(2) 単元について

本単元は「対比・まとめなど、段落相互の関係に気をつけることで内容を把握しやすくなることを知り、読み方に生かすとともに、伝えたいことと伝える方法について興味をもつ。」ことを目標に、指導要領の国語科第3学年および第4学年の「C読むこと」内容イ「目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え、文章を正しく読むこと。」を具体化して設定したものである。

児童が触れるメディアを通じた情報は、映像を中心とした視角情報、特に多いのがテレビの映像を通じた情報である。本教材は、児童が無意識に見過ごしている「映像のとり方」が、一定の価値判断・意図に基づいて取捨選択されたものであることに気づかせ、相対化する視点を提供するものである。

「アップとルーズで伝える」では、テレビや新聞などを通して私たちに届けられる映像や写真が送り手の目的や意図によって取捨選択されたものであることを、基本的な映像の技法である「アップ」と「ルーズ」を通して考えさせる。形式段落と対応した分かりやすい写真を視覚的な資料として示し、「アップ」と「ルーズ」を対比させながら読み進めることができる。また、文章構成が分かりやすく、既習事項を使いながら学習することができる教材である。

「四年三組から発信します」では、「アップとルーズで伝える」の学習をもとに、身近な物を題材として、相手や目的に応じて情報を取捨選択し、新聞などに書く。

(3) 指導にあたって

「アップとルーズで伝える」

(ア) 各段落の要点に着目しながら読む。

文末表現や、接続語、指示語などを手がかりに中心文を見つけさせる。特に中心文が二つある段落の要点のとらえさせ方については、定着を図りたい。第3学年および第4学年では、部分をまとめ、

つなげ、比べることなどを通して、児童が主体的に文章の構成を考えたり、中心をとらえたりさせることが大切である。そのため既習の方法である表を使い、読みとるべき内容が接続語の前後にあることを視覚的にとらえさせたい。

(イ) 段落相互の関係を考えながら読む。

段落相互の関係を理解させるために、段落構成図を毎時間示しながら、文章全体の構成を考えさせていく。

「四年三組から発信します」

(ア) 相手意識を持たせ、目的を持って活動させる。

(イ) 伝えたいことの中心を明確にさせ、グループで相談させながら必要な情報を取捨選択させる。

(ウ) グループ内で読み合い、伝えたいことが書かれているか、文章のずれがないか等推敲させる。

3 学習指導目標及び評価規準

	学習指導目標	評価規準
関意態	段落相互の関係を考えながら文章を正確に読み取ろうとしている。 伝える相手や目的に応じて、進んで材料を集めたり選んだりして分かりやすく書こうとしている。	・既習事項を使いながら、段落相互の関係を考え文章を正確に読み取ろうとしている。 ・伝える相手や目的に応じて、より多くの材料を集めたり必要な情報を選んだりしようとしている。
能力	アップとルーズの働きについて、写真と対応させながら中心となる語や文をとらえ、それぞれの段落が文章全体の中でどんな働きをしているかをとらえて読むことができる。(読イ) 相手や目的に応じ、必要な材料を集めたり、選択したりして書くことができる。(書イ)	・アップとルーズの働きについて、写真と対応させながら中心となる語や文をとらえ、それぞれの段落が文章全体の中でどんな働きをしているかをとらえて読んでいく。(読イ) ・相手や目的に応じ、必要な材料を集めたり、選択したりして書いている。(書イ)
言語	文章全体の中での、それぞれの段落の役割を理解することができる。(言オ(イ)) 文脈に沿って指示語や接続語を使うことができる。(言オ(ウ))	・文章全体の中での、それぞれの段落の役割を理解している。(言オ(イ)) ・文脈に沿って指示語や接続語を使っている。(言オ(ウ))

4 学習指導計画と評価規準

17時間(読7、書10) 評価方法

「アップとルーズで伝える」

時	学習内容	評価規準		主な教師の支援
		読む能力	言語についての知識・理解・技能	
1	・単元名とリード文から学習内容を知り、学習計画を立てること	単元の学習の見通しをもち、「アップとルーズで伝える」の文章の大体を理解している。 発言・ノート	新出漢字や語句の意味について理解している。 音読・ノート	・単元の学習の見通しを学ばせる。 ・新出漢字や難語句に注意し、音読させ文章全体をとらえさせる。

2	<ul style="list-style-type: none"> ・段落に印をつけた り、まとまりの段 落を考えたりしな がら、おおまかな 内容をつかむこ と。 	<p>教材文を読みなが ら、形式段落の要点 や段落のつながり を考えながらおお まかな文章の構成 について考えてい る。 発言・ノート</p>	<p>指示語や接続語を指 摘し、それらの言葉 を根拠に文章の構成 について考えてい る。 発言・ノート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『『かむ』ことの力』で学習した ことを使っておおまかな文章構 成をつかませる。(形式段落・接 続語や指示語から段落のつなが りを考える・小見出し・大見出 し) ・ 内容の大体が分かるようにしっ かり読ませる。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「アップ」と「ルー ズ」の意味を確か めるとともに、ど のような問題が提 示されているか読 み取ること 	<p>「アップ」と「ルー ズ」の画面の説明と どんな問題提示が されているか読み 取っている。 発言・ノート</p>	<p>指示語や接続語に着 目し、それらの言葉 を根拠に文章の内容 や段落構成について 考えている。 発言・ノート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各段落と写真との照応をさせ る。 ・ 「アップ」と「ルーズ」の画面 の説明について読み取らせる。 ・ 文末表現に着目させ、問題提示 の内容をつかませる。(でしよ う)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画面における「ア ップ」と「ルーズ」 のそれぞれの長所 と短所や目的に応 じて使い分けたい ことを読み取るこ と 本 時 	<p>「アップ」と「ルー ズ」のそれぞれの伝 えられること(長 所)と伝えられない こと(短所)や目的 に応じて使い分け られていることを 読み取っている。 発言・ノート</p>	<p>指示語や接続語に着 目し、それらの言葉 を根拠に文章の内容 や段落構成について 考えている。 発言・ノート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指示語や接続語に着目させ、ア ップとルーズそれぞれの長所・ 短所に気づかせる。(しかし、で も、よく伝わります。よく分か ります。分かりません。なかな か分かりません。) ・ 「このように」に着目させ、指 し示す内容の把握から段落相互 の関係を理解させる。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「アップ」と「ルー ズ」は相手や目的 に応じて使い分け られていることを 読み取ること 	<p>「アップ」と「ルー ズ」は相手や目的に 応じて使い分けら れていることを読 み取っている。 発言・ノート</p>	<p>指示語や接続語に着 目し、それらの言葉 を根拠に文章の内容 や段落構成について 考えている。 発言・ノート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「アップ」と「ルーズ」の写真 の場合については、目的に一番 合うものを使うことを読み取る ことができるようにさせる。 ・ 実物の写真等で確かめながら、 使い分けについてとらえさせ る。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各段落に小見出し と意味段落ごとに 大見出しをつけて 段落構成を確認す るとともに文章の 中心を考えること 	<p>前時までの学習 をもとに、段落のつ ながりや文章の中 心を考え読み取っ ている。 発言・ノート</p>	<p>指示語や接続語に着 目し、それらの言葉 を根拠に文章の内容 や段落構成について 考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの学習をふりかえり、 段落の小見出しをまとまりごと に分け、その大きなまとまりご とに大見出しをつけさせる。 ・ 段落構成図を作りながら、作品 全体の構成を理解させる。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章の構成や表現 の特徴について考 えること 	<p>筆者が読み手に分 かりやすく伝える ために工夫してい る文章の構成や表 現の特徴について 考え、指摘してい る。 発言・ノート</p>	<p>指示語や接続語、文 末表現などに着目 し、文章の書き方 について考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの学習をふりかえり、 対比的に述べられていることや文 章の構成等が筆者の工夫である ことに気づかせる。

5 本時の指導

(1) 本時の目標

「アップ」と「ルーズ」の伝えられること(分かること)・伝えられないこと(分からないこと)を読み取るとともに、段落相互の関係を理解することができる。

(2) 展開

段階	時間	学習内容と主な学習活動	指導上の留意点(評価の観点及び評価の方法)
つかむ	5分	1、前時を想起する。 2、本時の学習のめあてを確認する。 アップとルーズでは、どんなちがいがあるのか。	・前時に読み取った「アップとルーズの意味」と問題提示の文を掲示物から確認させる。 課題を把握し、アップとルーズの違いを読み取る意欲をもつことができたか。(観察)
ふかめる	30分	3、学習課題を解決するために、読みを深める。 (1) 学習範囲を音読する。 (2) アップでとると分かることと分からないことを読み取る。 (段落) (3) ルーズでとると分かることと分からないことを読み取る。 (段落) (4) 段落と 段落の関係を考える。	・アップとルーズでどんなちがいか書いてあるのか考えさせながら音読させる。 ・「伝わります」「分かります」「分かりません」という文末表現に着目させ、表にまとめさせる。 ・「しかし」という接続語に着目させ、その前後に分かることと分からないことが書いてあることに気づかせる。 ・各自が読み取ったことを発表し合い、写真と照らし合わせて確認させる。 ・写真の説明をしている文とそれらをまとめている文に気づかせ、中心文にサイドラインを引かせる。 分かることと分からないことを見つけることができたか。(教科書、学習シート) ・で学習した方法を使って、表にまとめることを通してルーズでとると分かることと分からないことを読み取るようにさせる。 ・「分かります」「分かりません」という文末表現に着目することを確認し、中心文にサイドラインを引かせる。 ・「でも」という接続語に着目し、その前後に長所と短所が書いてあることに気づかせる。 ・各自が読み取ったことを発表し合い、写真と照らし合わせて確認させる。 ・「このように」が何を指すのかを考えさせ、段落がこれまでのまとめになっていることをとらえさせる。 ・ 段落のまとめを 段落でしていることに気づかせ、段落相互の関係を確認する。

ま と め る	1 0 分	<p>4、本時の学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習ノートにまとめる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>アップでは、細かい部分の様子は分かるが、うつされていない多くの部分は分からない。</p> <p>ルーズでは、広いはんいの様子がよく分かるが、細かい部分の様子は分からない。</p> <p>このように、アップとルーズには、伝えられることと伝えられないことがある。それで、目的に応じて切りかえている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・各段落の中心文をつなげることがまとめとなることを確認する。自分でまとめることが難しい児童には、教師のヒントカードをもとに、読み取った内容からまとめるようにさせる。 まとめが終わった児童には、段落構成図を考えるように指示しておく。 アップとルーズのそれぞれの長所・短所が述べられていることを読み取っているか。(学習ノート)
		<p>5、次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習内容を振り返り、作者の表現上の工夫について考える。 ・新聞におけるアップとルーズについて学習することを確認する。

(3) 具体の評価規準

A：十分満足できると判断される状況例	B：概ね満足できると判断される状況	Bに至らないと判断した児童への支援
<p>・「アップ」と「ルーズ」ではどんなちがいがあのか中心文を落とさずに簡潔に書きまとめ、段落相互の関係を理解している。</p>	<p>・「アップ」と「ルーズ」ではどんなちがいがあのか中心文を落とさずに書きまとめ、段落相互の関係を理解している。</p>	<p>文末表現に着目させ、中心となる語や文をつかむことができるようにする。また、写真と合わせて教材文を読ませ、内容をつかめるようにする。</p> <p>ヒントカードを手がかりにまとめができるようにする。</p>

(4) 板書計画

まとめ

アップでは、細かい部分の様子を伝えられるが、うつされていない多くのことは伝えられない。

ルーズでは、広いはんいの様子を伝えられるが、細かい部分までは伝えられない。

このように、アップとルーズには、伝えられることと伝えられないことがある。それで、目的に応じて切りかえている。

6
このように

伝えられること
それで
目的に応じて切りかえ
伝えられないこと

アップとルーズでは、どんなちがいがあのか。

中谷 日出

	5	4
ルーズ	アップ	
広いはんいの様子	細かい部分の様子	分かること
でも	しかし	
細かい部分	うつされていない多くの部分	分からないこと

ヒントカード

教科書の赤線の文が中心文だよ。

4 アップでは、

が分かる。

しかし、

が分からない。

5 ルーズでは、

が分かる。

でも、

が分からない。

6 このように、アップとルーズには、

それで、

中心文をつないで、まとめてみよう！